

●入試名称 大 学 ★問合先等	学 部 (学群・学域)	学科-専攻 (学類)	募 集 人 員	出 願 資 格				選 考 方 法			2023年度入試日程			備 考		2022年度入試結果		
				対象課程	出専願時区分	現浪区分	成績基準	特定条件・その他	共テス通ト	書類・学科(配点・時間)・小論文(字数・時間)・面接(実施形態)・その他	出願期間	試験日	合格発表	合否判定評価法、共テ(教科・科目), 新設、その他	出願者数	合格者数	競争率	
●ナーシング・プロフェッショナル育成入試 ●総合型選抜 <b>香川 大 学</b> ★入試グループ ℡(087)832-1182 〒760-8521 香川県高松市幸町1-1	医	<ナーシング・プロフェッショナル育成入試>	看護	25	全	専	浪	×	特になし	×	1次=書類審査・提出エッセイ(募集人員の約4倍を選抜) 2次=小論文ⅠⅡ(各100点・60分)・面接	9.1 ～ 9.7	<1次> — <2次> 10.1	9.22 11.1	2次=小論文200点、面接100点、計300点 (注)小論文Ⅰ→英語問題、小論文Ⅱ→日本語による人文社会・自然科学系の論述式問題で、読解力、論理的思考力、表現力、文章構成力を評価する (注)面接→将来、看護・医療に従事する者として倫理観、コミュニケーション力、主体性、協働性、社会性などを総合的に評価する	129	27	4.8

●入試名称 大 学 ★問合先等	学 部 (学群・学域)	学科-専攻 (学類)	募 集 人 員	出 請 意 格					選 考 方 法		2023年度入試日程			備 考		2022年度入試結果		
				対 象 課 程	出 専 願 時 の 分	現 浪 区 分	成 績 基 準	特 定 条 件 ・ そ の 他	共 テ ス ト 通 ト	書 類 ・ 学 科(配点・時間)・小論文(字数・時間)・面接(実施形態)・その他	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表	合否判定評価法、共テ(教科・科目)、新設、その他	出 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率	
●総合型選抜 香 川 大 学 (続)	教育	<総合型選抜> 学校教育-中学校 <技術> <家庭科> <音楽> <美術> <保健体育>	2 2 2 2 2	全	専	浪	×	特になし	×	1次=書類審査・提出エッセイ(募集人員の約3倍を選抜) 2次=グループ・ディスカッション(約20分)、リフレクション・レポート100点、調査書等+面接150点、口頭試問・実技各200点、計450点	9.9 9.15	<1次> - <2次> 10.15	9.30 11.1	2次=グループ・ディスカッション+リフレクション・レポート100点、調査書等+面接150点、口頭試問・実技各200点、計450点	3 4 5 3 15	2 2 2 3 2	1.5 2.0 2.5 1.0 7.5	
		創造工 -彫・メディアデザイン	10					特になし (注)工業・商業・情報などに関する専門教育を主とする教育課程を履修した者の優先枠を各コースに設け、1名以上を合格者とする(ただし、受験者が合格基準に達していない場合はこの限りではない)	×	1次=書類審査・提出課題レポート(募集人員の2倍程度を合格とする) 2次=課題制作に関するプレゼンテーション(発表<5分>・質疑応答)・面接	9.1 9.7	<1次> - <2次> 10.22	9.30 11.1	1次=書類+課題レポート120点、2次=1次120点、口頭試問またはプレゼンテーション360点、面接120点、計600点 (注)調査書では勉学状況、特記事項を評価する(全コース共通)	20	11	1.8	
		-建築・都市環境	6						1次=書類審査・提出課題レポート(募集人員の2倍程度を合格とする) 2次=提出課題レポートに基づくプレゼンテーション(発表<5分>・質疑応答)・口頭試問・面接				(注)口頭試問→建築・都市環境コース=数I II AB、物基・物(力と運動)から出題	26	7	3.7		
		創造工		全	専	浪	×											
		-防災・危機管理	5						1次=書類審査・提出課題レポート(募集人員の2倍程度を合格とする) 2次=提出課題レポートに基づくプレゼンテーション(発表<5分>・質疑応答)・面接					8	5	1.6		

●入試名称 大 学 ★問合先等	学 部 (学群・学域)	学科-専攻 (学類)	募 集 人 員	出 願 資 格				選 考 方 法		2023年度入試日程			備 考		2022年度入試結果		
				対 象 課 程	出 願 時 の 分	現 浪 区 分	成 績 基 準	特 定 条 件 ・ そ の 他	共 テ ス ト 通 ト	書 類 ・ 学 科(配点・時間)・小論文(字数・時間)・面接(実施形態)・その他	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表	合否判定評価法、共テ(教科・科目)、新設、その他	出 願 者 数(エントリ数)	合 格 者 数	競 争 率
●総合型選抜 香 川 大 学 (続)	創造工 -機械システム -創造工 -情報システム・セキュリティ -人工知能・通信ネットワーク -*材料物質科学	全 専 浪 ×	6 6 3 9	特になし (注)工業・商業・情報などに関する専門教育を主とする教育課程を履修した者の優先枠を各コースに設け、1名以上を合格者とする(ただし、受験者が合格基準に達していない場合はこの限りではない)	×	1次=書類審査・提出課題レポート(募集人員の2倍程度を合格とする) 2次=口頭試問・面接  1次=書類審査・提出課題レポート(募集人員の2倍程度を合格とする) 2次=口頭試問(約15分)・面接  1次=書類審査・提出課題レポート(募集人員の5倍程度を合格とする) 2次=小論文(90分)・面接  1次=書類審査・提出課題レポート(募集人員の2倍程度を合格とする) 2次=自由研究ポスター・プレゼンテーション(発表<5分>・質疑応答)・面接	9.1 9.7 10.22 11.1	<1次> - <2次>	9.30 11.1	1次=書類+課題レポート120点、2次=1次120点、口頭試問360点、面接120点、計600点 (注)口頭試問→情報システム・セキュリティコース=情報分野の基礎学力や将来性を評価する、人工知能・通信ネットワークコース=数Ⅱから出題 (注)調査書では勉学状況、特記事項を評価する(全コース共通) (注)情報通信→人工知能・通信ネットワークコースに名称変更 1次=書類+課題レポート120点、2次=1次120点、小論文240点、面接240点、計600点 (注)小論文→物・数の素養を評価するため、図表、数式、数値を含んだ解答を求める場合がある 1次=書類+課題レポート120点、2次=1次120点、プレゼンテーション360点、面接120点、計600点 (注)先端マテリアル科学→材料物質科学コースに名称変更	20 17 9 20 2 11	7 6 2 11 2 1.8	2.9 2.8 4.5 1.7				
農	応用生物科学	30	全 専 浪 ×	特になし (注)専門教育を主とする学科および総合学科を履修した者の優先枠を設け、2名以上を合格者とする(ただし、受験者が合格基準に達していない場合はこの限りではない)	×	1次=書類審査・提出エッセイ(募集人員の2倍程度を合格とする) 2次=授業理解力テスト(講義・40分、記述式テスト・60分)・面接(個別、約15分)	9.5 9.9	<1次> - <2次> 10.22	10.7 11.1	2次=授業理解力テスト100点、面接100点、計200点 (注)面接→志望する動機と修学に必要な科学的基礎知識、論理的思考力、自分の考えを的確に伝える表現力、勉学に対する意欲などを評価する	54	32	1.7				